

シリーズ わたし す きょうと **私の好きな 京都**

発行：(公財) 京都市国際交流協会
http://www.kcif.or.jp
lik web: http://lik.kcif.or.jp/

きょうと たんけん 京都を探検してみませんか？

いわい がっしゅうこく 岩井ニコラス (アメリカ合衆国)

わたしはアメリカのイリノイ州から来た、日系アメリカ人です。私の半分は日本人ですから、日本の文化に初めてふれたのは幼い時でした。その時、家族と一緒にたくさんのスタジオジブリの映画をみたり、梅干とかラーメンのような日本食を食べたりしました。日本について学ば学ばほど、日本の文化と言語への興味がどんどんふくらんでいきました。そういって、全ての歴史的な場所を見たり、言語を学んだり、和歌山県に住んでいる親戚に初めて会ったりするために日本に来たかったです。2017年7月23日、やっと願いが叶いました！今は京都市に住んでいて、「JETプログラム」(語学指導等を行う外国青年招致事業)で外国語指導助手として働いています。京都での生活を最大限に楽しむために、市内をできるだけ探検しています。

日本に住むのは今回が初めてなので、まだ新しい環境に慣れる途中ですし、ホームシックにもなっています。この街に慣れるために、忙しくするようにしてきました。クラブに所属して毎週バドミントンをしたり、親戚を訪ねたり、kokoka 京都市国際交流会館でボランティアをしたりしています。kokokaは京都を旅している、あるいは住んでいる外国人のために、京都での生活に関することや観光スポットについてのアドバイスをしています。また、外国の文化が京都に広まることも願っています。僕は最近、Life in Kyoto というニュースレターのチームに入り、新しい英語編集者として活動しはじめました。この経験で新たな人々と出会えるし、ニュースレターの読者に自分の経験を伝えられるし、また、私の英語の能力も高く保つことができます。

京都で好きなことの一つは、すばらしい神社やお寺を見に行くことです。私はふたつのお寺をお勧めします。一つ目は「蓮華王院」という名前でも知られる三十三間堂です。このお寺は、



わたし わかやま しんぞく 私と和歌山の親族



さんじゅうさんげんどう 三十三間堂

6 ページに続く

©あなたの感想を聞かせてください office@kcif.or.jp

Advertise your activities in the "Life in Kyoto" newsletter!

レストラン、語学教室、ワークショップ... 皆様のビジネス、企画を外国人のための kokoka の情報誌 "Life in Kyoto" で PR してみませんか？
ご連絡お待ちしております！ Let us introduce you to our readers!

Tel: 075-752-3511 ("Life in Kyoto" 担当者)
メール: office@kcif.or.jp



LIK ボランティアスタッフ大募集！

あなたの趣味は何ですか？何かしたいことはありますか？
情報誌 Life in Kyoto で新しいことを始めてみませんか？
企画を練って、取材をして、執筆から編集、出版まで！
全ての工程に携われる、やりがいのある活動です！
わからないことは何でも先輩に聞いてくださいね :D

お気軽にご連絡ください！ TEL: 075-752-3511 E-mail: office@kcif.or.jp

京の名物、すぐき漬 ~すぐき漬のできるまで~

皆さんは、「漬物」を食べたことがありますか？日本各地にご当地の漬物がたくさんありますが、京都にも多くの種類の漬物があります。今回はその中から、「京の三大漬物」のひとつに数えられる「すぐき漬」を紹介します。

記事を書くに当たり、すぐき漬を出荷している谷直続さんの自宅にある作業場を訪ね、すぐき漬について教えてもらいました。すぐき漬の原料は、かぶの一種である「すぐき菜」で、元々上賀茂神社で栽培されていたものが発祥と言われています。神社の関係者がすぐき菜を漬物にしていたことが、明治時代になってそれが近隣の農家に伝えられ、各家庭でもすぐき漬が作られるようになったということです。ちなみにすぐき菜の種は一般には販売されておらず、各農家が毎年種をとり、翌年の分として取っておくそうです。そのため、すぐき菜の葉やかぶらの肉質が家ごとに少しずつ違っていると、谷さんに教わりました。

すぐき漬はまず、すぐき菜を栽培するところから始まります。毎年8月中旬、お盆のすんだ頃から何回かに分けて種をまき、大体70～80日で収穫します。収穫は12月まで続き、毎年10月位から漬け込み作業が始まります。

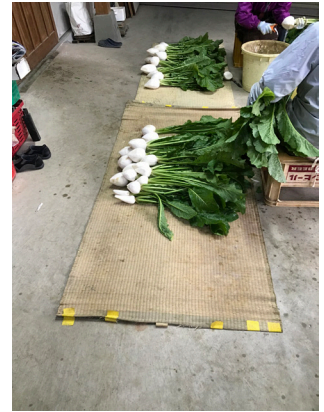
収穫されたすぐき菜は面取り、皮むきをして葉をつけたまま大きなたるで塩をし、一晩下漬します。翌朝5時位から下漬されたものを大樽から取り出し、小分けにして重しをして、1週間から10日かけて本漬されます。その後、温度が一定に保たれた「室（むろ）」に入れられ、乳酸発酵させて完成となるそうです。谷さんの作業場では、完成したすぐき菜を主に漬物屋さんへ卸している、とのことでした。

すぐき菜の種は毎年一番元気に育ったすぐき菜を根ごと掘り返しおき、漬け込み作業の終わった年明けからふたたび畑に植えなおし、5月の開花を待って採集するそうで、アブラナ科のすぐき菜は黄色い花を咲かせるそうです。同時期に開花する他のアブラナ科の植物と交配しないよう、例年気を使う時期だそうです。

谷さんは他にも上賀茂ナスやトマト、きゅうりも栽培していますが、すぐき菜を植える時期に合わせ、8月には全て収穫し、すぐきを植える準備に取り掛かっているそうです。

実は私は千葉出身なので、すぐき漬を食べたことがなかったのですが、今回記事を書くに当たり実際に味見をしてみました。独特の酸味とすぐき菜の食感がとてもよく、白いご飯だけでなくお酒ともベストマッチで、新たな好物にめぐり会えた気がしました。

京都の誇る漬物のひとつ、すぐき漬。皆さんもぜひ、一度試してみてください。その美味しさにやみつきになるかもしれませんよ？



下処理を終えたすぐき菜



大樽で下漬け



昔の本漬（奥）と
今の本漬（手前）

まるやま とおる
丸山 徹

kokoka news *** こくさいこうりゅうかいかん ニュース

「生活風景写真展—私の好きな日本、中国、韓国」

kokoka ボランティアの皆さんが日本、中国、韓国の人々の生活や文化を紹介する写真展を企画しました。

◎生活風景写真展

開催期間：3月13日（火）～18日（日）
午前9時～午後9時（18日は午後2時まで）

会場：kokoka 京都市国際交流会館



4ページに続く

ひな祭り (ひな人形)

3月3日が何の日か、知っていますか？ 日本では「ひな祭り」と呼ばれ、女の子のいる家では、「ひな人形」を飾ります。ひな人形を飾るのは、女の子の健やかな成長を願うことです。

「ひな」という言葉には、「鳥の子」や「子供」という意味のほかに、「小さい、愛らしい」などの意味があるようです。「祭り」は「festival」ですね。「ひな」という言葉の響きが、なんとなくかわいらしいと感じる日本人は多いのではないのでしょうか。最近では女の子の名前としてとても人気があり、名前ランキングでよく見かけます。

ひな人形の歴史は古く、江戸時代(1603-1868)には、段を組んだり豪華な飾りを施すようになりました。現代においても、家庭でひな人形を飾るものなのでしょうか。私は女性ですが、家にひな人形はありませんでした。

この記事を書くにあたり、20～30代の友人や同僚8名に聞いてみると、全員家にひな人形を飾っていました。各家庭やきょうだい構成によってさまざまに興味深いものだったので、少しご紹介します。



7段飾りのひな人形



市松人形

ひとり子 Yさん 私の家では7段のひな人形を飾っていました。

ふたり 2人きょうだい 妹 Fさん 私は7段のひな人形で、妹は市松人形でした。

妹 Yさん 姉妹でひな人形を共有し、小学生くらいまで飾っていました。

妹 Kさん 二人でひとつのガラスケースに入ったひな人形を飾っていました。

姉妹で同じひな人形を飾っていました。2歳の娘には、ガラスケースに入ったお内裏様とお雛様を飾っています。

Mさん あに 妹

さん 3人きょうだい

7段のものを飾っていました。片付けるときは、顔にティッシュをかぶせたり、お手入れが必要で、剣などの部品は細かくて、どの人形のものか分からなくなることがありました。

Rさん あに 兄

私はひな人形を持っていました。それと別に、私と妹それぞれに自分に似た人形も持ってました。髪の毛、鼻、肌の色を似せて作ってくれるお店がありました。

Hさん おとうと 弟 妹

よにん 4人きょうだい

おね 姉 おとうと 弟 妹 Nさん 姉のときに7段のひな人形を買って、私と妹には、市松人形を買ってもらいました。今度、一歳の娘に場所をとらないひな人形を買います。

二人目の女の子には「市松人形」を買うという声が多く、私は日本に住んでいながら、そのことをまったく知りませんでした。ちなみに私の家にひな人形がないのは、私が小さい頃、人形を怖がったため買わなかったそうです。日本のホラーでしばしば人形が登場します。ひな人形は各家庭さまざまで、とくに決まりはないのかもしれないですね。

のぐちりか 野口 理加

ちょうせんつうしんし 朝鮮通信使

1980年代に日本国内の権力者となった豊臣秀吉は、1590年代に朝鮮に侵攻し、50,000人とも言われる民間人を捕虜として日本に連れてきました。秀吉の死後の1600年代初めに徳川幕府の初代将軍となる徳川家康が政権の座に就きました。家康は朝鮮半島における李氏朝鮮との友好を重要視し、何より侵攻を直ちに終結しました。家康は捕虜を帰還する為に、朝鮮からの使節（朝鮮通信使）を受け入れる決断をし、併せて、日本と朝鮮の友好関係を築くために確認し合う作業を行いました。1607年に始まった通信使は、最後となった1811年までの間12回に及びました。規模は各回500人程度でした。使節は、ソウルを出発しプサンまで陸路を行き、そこから日本へ船旅しました。対馬にたちより、瀬戸内海を京都の淀まで航海しました。京都では、大徳寺・本圀寺・本能寺で宿泊しました。それから使節は、東海道を經由して東京と日光へ行列し、その間には各地で交流しました。

当初は、捕虜を朝鮮に帰すことが使節の目的で、その後、新しい将軍職に就任するときの祝賀が目的となりました。徳川幕府にとり使節は、幕府がガヴァナンス出来ていることを国内・国外にアピールする機会であり、朝鮮半島と中国の政治動向を知る絶好の機会でもあったのでしょうか。

当初の主目的は捕虜の帰還でしたが、7,500人程度しか朝鮮には帰りませんでした。日本に残ったのは数万人と言われ、文化や工芸を伝えた人が沢山います。その一人に、京都で西雲院という寺を創設した宗厳という名の法師がいます。宗厳は17才の時にピョンヤンで捕らわれ日本に連れてこられました。各地をめぐり歩き、41才になって京都にきました。私は、西雲院を京都市左京区の紅葉が美しい黒谷に尋ね、お寺の関係者に話を聞き、宗厳が永眠する墓にお参りしました。

李氏朝鮮の国王から徳川将軍への外交文書である国書からは双方の文化レベルの高さが分かります。使節団が行進する様子を描いた絵には使節規模の大きさが感じられます。これらの歴史資料を、ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、2017年10月に世界記憶遺産として登録しました。

この機会に、平和と人権を思い返してみませんか。



さいうんいん
西雲院



さいうんいん かいき
西雲院を開基した
宗厳和尚の墓

ふるた とみよし
古田 富好

kokoka news *** こくさいこうりゅうかいかん ニュース

「生活風景写真展—私の好きな日本、中国、韓国」

◎写真募集中!!

テーマ：「街やくらしを感じる日本、中国、韓国」として、その土地の文化伝統、人々の生活風景などが感じられる内容。

応募：一人3枚まで（写真1枚当たり2MB以上10MB以下）

応募期間：2018年1月20日（土）～2月18日（日）

応募方法など、詳しくはホームページをください。

http://www.kcif.or.jp/HP/jigyovolunteer/jp/event/shashin_bosyu2017.htm

問合せ・応募先：（公財）京都市国際交流協会

TEL：075-752-3511

E-mail：office@kcif.or.jp



バレンタイン・デー 「Saint Valentine's Day」

2月14日はバレンタイン・デー、その日に日本では女性が愛を伝えるために好きな男性にチョコレートを贈ります。

バレンタインというのは、キリスト教の司祭であったバレンティヌスの英語読みです。

どんな人だったのでしょう…？彼にはこんな伝説があります。

西暦3世紀のローマでのことです。ローマ皇帝クラウディウス2世は、若者が戦争に行きたがらないので困っていました。これはきっと彼らが自分の家族や愛する人から離れたくないからだと思い、結婚を禁止してしまいました。バレンタインはそのような可哀そうな兵士たちを内緒で結婚させていたのです。

キリスト教を迫害していた皇帝がそれを知り、バレンタインにその罪を認めさせ改宗するように命じました。しかし彼はそれを拒否したため投獄されました。

彼が獄中で神に祈り、看守の盲目の娘の目を治すという奇跡が起きました。その噂を耳にした皇帝により、西暦269年2月14日に処刑されてしまったのです。彼が処刑される前に「あなたのバレンティヌスより」と署名した手紙を彼女に残したことから、西洋の国々では、2月14日に好きな人にカードを送るようになったと言われています。

日本では、チョコレートがバレンタイン・デーの象徴のようになっています。1958年、東京のデパートで開かれたバレンタイン・セールでチョコレート業者が行ったキャンペーンが始まりだそうです。今では多くの日本人がこの習慣を楽しんでいます。これはもともとの伝説とは関係のない、お菓子業界の販売戦略がこの始まりですが、大切な人に自分の気持ちを伝えるという部分は同じですね。あなたの国ではどのようにして自分の気持ちちを好きな人に伝えますか？

なかむら ようこ
中村 陽子



「大好きなパパへ！」

kokoka 京都市国際交流会館
としよ 資料室

としよ レター

2018/2・3

📖 オススメの一冊

『京都 お泊まり案内帖
- 旅好きが選ぶ小さな宿 -』

(アリカ 編著、光村推古書院、2011)



海外から家族や友人が京都に遊びに来ると決まったら、この本を読んで滞在する宿を選んであげてはいかがでしょうか。ホテルと比べると不便なところもあるかもしれませんが、せっかくの京都！観光や買い物だけでなく、宿でも京都を感じてもらいましょう。町屋を一軒貸し切るスタイルやゲストハウスに宿坊…。う～ん、どれも捨てがたいし、なんだか自分が泊まりたくなりますね。

おめでとう！今年、京都市とフランス・パリ市は姉妹都市提携60周年を迎えます。この機会に、『改訂版 ガイドブック ないパリ案内』（稲葉宏爾 著、阪急コミュニケーションズ、2012）を読んで、パリの街について知ってみませんか。美しいだけではない、また別のパリの姿に出会える一冊です。読んでみると、思わずパリへ行ってみたいくなります。

📖 図書・資料室には こんな本もあります

外国人が日本で生活するための本

日本語学習、法律ビザ、日本文化、京都観光、いろいろな国の新聞

日本人が外国を知るための本

海外旅行、留学、ロングステイ、ワーキングホリデー、ボランティア

📖 貸し出しはしていません。

【オープン】9:30～20:30
(月曜日 & 月末最終日閉室)

【TEL】075-752-1187

【FAX】075-752-3510

1ページから続く シリーズ わたし す きょうと 私の好きな 京都

1029体の像があることや、日本で最も長い木造建築（120メートル／393フィート）であることで有名です。お寺の真ん中のあたりには、とても大きな黄金の観音像があります。その像の両隣には1000体の人間大の観音像が並び、その像の前には28体の守護者の像があって、息をのむほどの光景で目が離せなくなります。

二つ目のお勧めのお寺は、金戒光明寺です。このお寺を知っている人は、一つ目ほどは多くないかもしれません。というのも、京都に生まれて、まだ金戒光明寺に行ったことがない人と会ったことがあるからです。私はこのお寺を、昼ごはんの休憩のときに思いがけず見つけたのです。私の学校の近くを歩き回っていた時、山門の奥にたくさんのお寺がある場所を見つけました。金戒光明寺に入ると、とても大きな和室があります。この和室の中には、二つの天井から吊るされた装飾のある柱のような構造物があって、後ろの壁の前には石像が並んでいます。私はこの和室を楽しんで見る事ができました。この部屋には穏やかな美があると思います。このお寺の美を味わったら、次はお寺の前にあるお店でみたらし団子を買うよう強くお勧めします。三本でたった百円です！

京都に住むことができ、とても幸せです。僕はもうたくさんのお寺を見つけたのに、この素晴らしい都市にはまだほかにもたくさんのお寺が隠されています。京都を楽しむなら、三十三間堂と金戒光明寺には忘れずに行って見てください。どちらのお寺にも、ぜひ感じてほしい穏やかで厳かな空気があります。これらのお寺を見たあとは、あなた自身で自分の気に入ったお寺を見つけてみてください。京都にはお寺や神社がとても多いですから、難しくはないはずです。



金戒光明寺の入口

翻訳協力：Sho

kokoka news *** こくさいこうりゅうかいかん ニュース

「日本文化体験 @kokoka - 茶道・日本語 -」

kokokaでは「ふれあい講座」と題し、外国の方を対象にした茶道の入門講座「はじめてのお茶」と、初歩的な日本語の講座「やさしいにほんご」を定期的に行っています。4月から新しいクラスが始まります！いずれの講座も3ヶ月（12回）で7,000円の連続講座です。申し込みはkokoka 1Fカウンターで、3月1日から開始します。

詳しくはホームページをご覧ください。

「はじめてのお茶」http://www.kcif.or.jp/HP/jigyotabunka/jp/fureai/index.html

「やさしいにほんご」http://www.kcif.or.jp/HP/jigyotabunka/jp/yasashii/nihongo.html

問合せ：(公財)京都市国際交流協会

TEL: 075-752-3511 E-mail: office@kcif.or.jp

メンバー

生田 稔 / 岩井 ニコラス / 金谷 千菜美 / 鈴木 翔一朗 / 鈴木 秀利 / 中村 陽子 / 野口 理加 / 橋本 小百合 / 古田 富好 / 丸山 徹 / 八木 俊幸 / 湯澤 公朗 / 林 秀鳳

WEB ページでも日本語、英語、中国語でLIK を読めます！
ぜひコメントも書いてね！

LIK web ページ QR コード→



発行：(公財)京都市国際交流協会 (http://www.kcif.or.jp)

TEL: 075-752-3511 FAX: 075-752-3510 E-mail: office@kcif.or.jp

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2-1 地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より 徒歩 6 分

開館時間：9:00 - 21:00

休館日：月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日休館)



はじめてのお茶

